

なからぎの森

発行元：京都府立植物園整備計画の見直しを求める会
(通称：なからぎの森の会)
〒606-0851 京都市左京区下鴨梅ノ木町 62-2

あけましておめでとうございます



◆ 京都府が2020年に「北山エリア整備基本計画」を公表してから、すでに4年目に突入しようとしています。植物園の商業的な利用や府立大学構内での巨大な商業アリーナの建設、総合資料館跡地でのホテルを含む賑わい施設の建設などをやめるように、私たちをはじめさまざまな住民団体、府大関係者の団体が植物園・北山エリアの環境を守るために共同して宣伝・署名活動を行ってきました。現在では16万筆を超える署名が集まり、京都府知事あてに7次にわたって提出してきました。その成果、問題は以下の通りです。

- ◆① 府立植物園の周縁に商業施設を作り、出入りを自由にし、イベント広場化するという当初の計画を、府は一定見直しせざるを得なくなりました。
- ② 京都府立大学内に計画されている1万人規模の「共同体育館(アリーナ)」については、向日町競輪場敷地にアリーナを建てる案が出てきていますが、京都府はいまだにどちらにするとともに表明していません。アリーナよりも学生のための体育館を急ぎ建設すること、老朽化した校舎を早急に建て直すことを何よりも優先してほしいというのが府大関係者の切実な要求です。
- ③ 旧総合資料館跡地については、2025年3月までに旧建物を解体し、月600万円の賃料を納めて7年間暫定利用を請け負う業者が「日本リグランド(株)」に決定しました。跡地に新たな施設を作るのは、2032年以降の計画になっています。この跡地の利用については、住民も含めた話し合いの場を設け、協議することを要望します。
- ④ 旧総合資料館の解体工事についての住民説明会を開くよう求めます。昨年11月8日の署名提出時の交渉では、それまで約束していた説明会開催を否定するなど京都府は大変不誠実な対応をしてくれています。

◆ 旧総合資料館跡地の南西側の植物園寄りの空き地に計画されている「賑わい交流施設」(ホテルなど)の建設については、地域にそぐわない施設であり、中止を求めます。 そもそも京都市の都市計画の規制では、この地にアリーナやホテル、劇場の建設は認められないものです。

◆ 私たちは、「北山エリア整備基本計画」全体の白紙撤回をもとめ、署名活動を続けていきます。引き続きご支援・ご協力をお願いします。

今年もよろしくお祈りします！



2023年11月8日第7次署名
5,994筆を提出しました。
12月21日現在の累計は
16万2,755筆になりました。

観覧温室内のラン室がリニューアルされました。2024年1月6日にオープニングセレモニーが行われます。画像は2023年2月の撮影です。



2月4日に行われる京都市長選挙に立候補を予定している4人の方に公開質問状を出し、全員から回答をいただきました。内容についてはチラシやHPで公開しています。

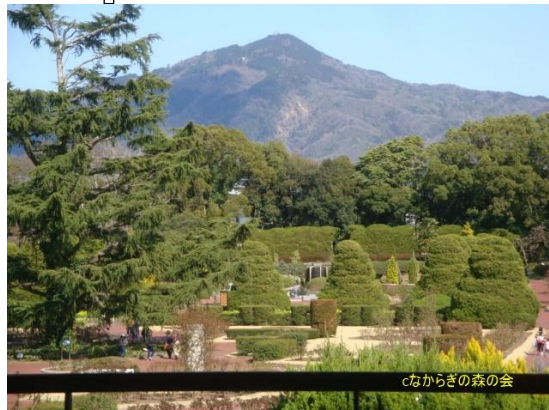


おめでとう！京都市立植物園 100周年

府立植物園を守り、「生きた植物の博物館」として次の100年、200年へと発展させましょう。



2023年11月アフリカ最大の臭い花、アリストロキア・ゴルデアナが咲きました。



なからぎの森の会



2021年7月シヨクダイオオコンニャクが咲きました。



正門から北の山々が見通せる、この景観をなくさないで！



12月20日に「第4回共同体育館整備に係る意見聴取会議」が開催されました。

- ・京都府立大学に1万人規模のアリーナは非現実的
- ・学生ファーストで
- ・地域に開かれたものに
- ・防災拠点に
- ・議論は尽くされたので府民への説明を早く実施するべき

などの意見がかわされ、塚本学長も「可動式2000席の案を来年早々部局長会議に諮り、府に要望書を提出する。一刻も早く体育館を整備してもらいたい」と述べました。

旧総合資料館跡地の暫定利用について

旧総合資料館の解体と跡地の暫定利用を請け負うことになった日本リグランド(株)は次のような施設を提案しています。

- 住宅展示場、イベントスペース・キッズランド、全天候型ドッグラン、ショップ&カフェ、災害スペース、駐車場

12月22日に京都府知事と日本リグランド(株)に、解体工事とその後の利用計画についての説明会を開催するように申し入れ、1月15日までに回答するように求めました。

